

インフラ老朽化や人口減などに対応

エイト日技と高知・越知町が連携協定

エイト日本技術開発は、高知県越知町と同町が抱える課題の解決に向けた技術連携協定を結んだ。インフラの老朽化や人口減少などの社会課題に対して、同社が持つGIS（地理情報システム）などの先進技術を活用し、行政サービスの効率化につなげる。

同町の庁舎で開かれた締結式には、小田保行町長と同社の宮本克己取締役兼常務執行役員事業推進本部長が出席。同町のPRキャラクター「よ



コジロー」が見守る中、両者の間で協定書が交わされた。写真。

小田町長は「インフラの老朽化に加え、技術の継承や業務の効率化というマンパワーの部分にも課題がある。さまざまな分野の知見と、全国規模のネットワークを持つ民間企業との連携は不可欠だ」と述べ、自治体経営の効率化や地域活性化の進展に期待を寄せた。

宮本取締役は「町が抱えているインフラ管理、まちづくり、公共施設に関する多様な課題に対し、当社の知見や技術で解決に向けて尽力していく」と述べた。

今回の連携事項は、▽インフラ管理に関すること▽まちづくりに関すること▽公共施設に関すること▽その他協定の目的達成に必要な事項――の4項目。

